

滿洲國勢觀

東京文理科大学名譽教授
滿洲國軍官學校教頭
文藝學博士

中山久四郎

私が最初に滿洲に参りましたのは明治三十九年でありまして、戰跡血生臭い直後でありましたが、その後も短くて二ヶ月長くて半ヶ年の滞在をしてをりました様な譯であります。今日滿鐵總裁をせられてをりました會長の林伯爵を前にして甚だ厚顔でありますが私の體得しました論より證據の滿洲の現状をお話申し上げます。

建國十周年を迎へました昨年三月一日に發表されました滿洲の滿九ヶ年間の發展を見ましても全貌が知られるのでありまして治安も全く確立せられ建國當時馬賊が三十萬居りましたのが昨年三月には大體四、五百人になつてゐるといふ状態であり、又大學も無かつたのが今では十六校も開校せられるのを初めとして産業、交通等目覺しい發展を遂げてをるのであります。日本の正義の下に發展したこの滿洲の躍進は他國のひとしく認める所であります。但し十六校の中内地の大學に伍して譲らぬものはその中の三、四校でありまして他は専門學校程度のものであります。

斯様な統計的なことは別として私は此の明治聖徳記念學會の御趣旨に近いものとして滿洲に於ける敬神祭祀の事に就いて申し上げます。

滿洲の敬神祭祀の最も重いのは何と云ふても建國神廟の御創立であり御祭神として 天照大神を祀られたといふ事で

あります。

これは偶然の事ではなくして最初皇帝陛下の日本御訪問後發布せられました回鑾訓民詔書の中に「一徳一心」となへられ、天皇陛下と一心一體であらせられる旨を御示しになつたのであります。その時の宮中の席に於ては其の詔書の發布の時の陛下の御信心の固きこと文武百官ひとしく感激されたといふ事であります。

皇帝陛下が清朝最後の御方として其の間十數年御苦勞なされて遂に又滿洲に君臨されたのであります。御聰明であらせられる上に御君徳を磨かれ日夜政務に御精勵の程は近臣の深く感激申上げてをる所であります。

軍官學校が昨年で創立三年目に當るので行幸を仰ぎ初めて開校式を行ひました。敷地が坂になつてをりますがその臺の名前をお付けになるといふ譯で御参考にある適當の名を申上げたのですが、陛下はこれは立派な名前だがといふて御自分で同德臺とお付け遊ばされたといふことでもあります。

「一徳一心」といふ御詔書の感銘深い御言葉にも通じ、誠に感激に堪へない所であります。軍官學校には日系、滿系が同様に入つてをりまして同じ事を學んでをるといふ所からもこの御名をおつけ遊ばされたのであります。

陛下は日本に二度の御訪問の後に建國神廟として御祭神に、天照大神を崇め祀つたのであります。同時に國本奠定詔書を發布され、滿洲の國本を固くお定めになるとありましてその中に、天照大神ノ神麻、天皇陛下ノ保佑

とお述べになられてこの事を最も御強く感ぜられ、よつてこゝに神廟を立て國家の最も大いなる祭とし然も、

國本惟神ノ道ニ奠リ、國綱忠孝ノ教ニ張リ

とお述べになつてをります。

この惟神の道を外國で採入れましたのは滿洲國が初めてであります。天照大神を祀り申上げるといふ事は、今上天皇を崇められることであり、従つて其の御祖先を祭るのは當然でありましてこの大御心の厚きに感ずる次第であります。

國祖神を祀るのは他の國にも無いではないがしかし祀つた國も亡びてその跡方も無くなるといふのは珍しくないのであります。我が國に於ては萬世一系今に至つてゐる。この惟神の道を永く保持させるばかりでなく、外國にも光被させようとしてゐるのであります。

此時滿洲國に於て神廟の元神として、天照大神を祀つた事は日本人として感激に堪へない所であります。

滿洲國は建國の精神に就いては識者をして心配せしめたのであるが幸に國本奠定に依つて滿洲國は健全となり心配した程のことはないと云ふのが私達が感じた印象であります。

日本人であると同時に滿洲國の爲に盡す事は日本の爲であり、皇帝陛下に忠誠を盡すことは皇帝陛下が御兄君とも仰ぐ、天皇陛下に忠義を盡すことになるのであります。

外國であつて外國でない、不可分の國として立派に日本人としての使命に生きることの出來ますのを幸とします。
組織法（我が國の憲法に當る）には皇帝陛下が御自身國家の祭祀を司るといふことがある。

かくの如く陛下を初めとして國祖神を崇めるのでありまして昨年、滿洲新聞に依りまして司法大臣張煥桐閣下が御家庭に、天照大神を祀つてをられることを伺ひ非常に心強く感じられたのであります。

滿洲國には日本の神社が百八十九あります。その中、天照大神を祀る神社が百六十餘りである。要するに百六十二社に神廟を崇め祀る、天照大神を祀つてゐるのであります。

神廟の御創建に就いては八東清貫君が專任にあたられるのですが其の祭典祭事の事も殆ど日本式であります。

神廟は帝宮内にありますので一般人民は自山に參拜出来ませんがこれと關聯して建國忠靈廟が出来まして、日本の靖國神社にあたるものであります。滿洲にをりながら日本の感じで參拜出来るのであります。その神紋も色々工夫してあつて立派なものが出来ました。滿洲の國花たる蘭に櫻をとり合せたものであります。

日本の大政翼賛會に當ります協和會には信條がありますがその第一條に

常に元神ヲ信奉シ忠靈ヲ崇敬シ會ノ道統ト使命トニ殉セン

とあり、又會員の覺悟にも、

神祇ヲ體シ、八紘一宇ヲ發揮セン

と述べられてある事に依つて日本と全く一心同體といふことを示してをります。

次に兵役に就いて申します。日本と共同防衛で北方はソ聯に對するといふ建前であります。例の張作霖の軍隊も完全では無く馬賊的なもので訓練の如きも新しいのは不充分であり多數はその私兵といふ如きであつたのです。

所が一昨年に出兵法が出来、これに合格した者が六月一日に入營し、これは日本の軍隊と同様と言ふことはないが全く見違へる様な立派なものになつてゐるのであります。殊に支那に於ては文を尊び、武を賤しむといふ所から

好鐵不打釘

好人不當兵

といふのが大部分であり兵隊になるのが寧ろ恥かしいといふ氣風があつたが國兵法の制定と共に良兵、良農の標語を以

て新に教育することとなり、指導者當局の熱心が反映して振つて兵役に就くものが至る所にある。こうした訓練を受け行くならば日本軍と共同防衛の任務を立派に成遂げることになることと信じます。

この事は時局柄誠に有難いことと思つてをります。

次に滿洲が支那事變に對してどういふ態度をとつてゐるかといへば、日本には絶對信頼の誠を示してをりますが萬に一人といふほどに少し不安を感じてをりましたのが大東亞戰爭の勃發以來、やつぱり日本は偉いといふことを深く感じ日本をどこまでも信頼しなければならぬといふ風に全體がなつてをります。又産業方面にも、日本の國債も餘り喜ばなかつたが大東亞戰爭になつて以來進んで歓迎する様になつたのは喜ばしいことであります。

然して一度對米英戦始まるや、皇帝陛下初め官民深く感激し皇帝陛下も次いで詔書を渙發せられてその中にも日本の陛下と一心同體といふことを力説あらせられたのであります。二十五日の旬報の中に詔書をかゝげ次いで政府は日本の赫々たる戦果はこれぞ天照大神の御神助によるものなりと強調して、

神ノ斷ナリ、天ノ時ナリ、

と聲明してをるのであります。この様なことも敬神思想の現れであると思ひます。

吉林市の省立齋々イイク農林學校に参りましたがこの學校は農業をするのにも林業をするのにも神様に齋き祀る心を以てするのを目標としてをり従つてその心を學校名にも名付けたといふことを聞きました。

これを要するに滿洲國には喜ぶべきことが多々あるのであります。今回は特に敬神祭事、國兵に就いて述べて私のお話を終りたいと思ひます。(昭・一七一・三二口演)